

登録番号20号

東和組立株式会社

代表取締役 板津 幹彦
美濃加茂市川合町4-5-2
平成26年5月 雇用人数1人（可茂特別支援学校卒業）

障がい者を雇用した理由は

昭和46年に近所の職障がい者を雇用したのが、障がい者雇用のきっかけとなりました。その後は、知的障がい者を中心に何人か雇用してきました。平成になり、近隣の5校の特別支援学校から職場実習を受け入れるようになりましたが、実習だけで終わるのではなく採用してほしいという要望があり、また、特別支援学校の熱心な後押しもあり、年に1名は卒業生を受け入れるようにしています。

仕事内容、働きぶりは

岩田さんには、納品された部品の検収と格納の一部を担当してもらっています。半年間は、指導員と二人で作業を行っていましたが、現在は一人で決められた作業を行っています。問題があれば報告してくれるので安心して任せられます。毎日、明るい挨拶ができ、同僚の評判も良好です。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

当社の基本方針としては、障がい者も健常者も区別なく同じ労働条件で働いてもらっています。ライン作業のため、残業も行えることを採用の条件としています。特別支援学校からの職場実習の際には、保護者の方にも職場を見学してもらい面接を行います。実習を通して、本人に合った仕事や部署を見極めていきます。

自動車免許取得希望について採用時に確認を行い、取得を目指す場合は、集中して勉強してもらい免許取得後、入社してもらうように配慮しています。

障がい者を雇用してよかったことは

現在、19名の障がいのある方が働いています。知的、身体等の障がいの違いはありますが、一人ひとりの障がいの特性に応じた仕事を探し、時間をかけ、定着してもらっています。障がい仕事に影響しない配慮、方法を探していく中で、職務分析が進み、他の社員にとっても仕事のしやすい配置、配慮を見つけていくことができました。それにより、全体としての作業効率のアップにもつながりました。

◎卒業生のコメント

【岩田 有真さん（可茂特別支援学校卒業）】

職場実習で出勤時のタイムカード、食堂でのカードの使い方を体験していたので、入社した時はスムーズに行えました。就職が決まり、自動車免許を取得し、車も購入しました。それらの費用を親に立て替えてもらったので、毎月の給料から返済しています。就職してから体調不良で会社を休んでしまったので、体力作りのために毎日ランニングをしています。



登録番号55号

日本耐酸塩工業株式会社

代表取締役社長 堤 健
大垣市中曾根町610
平成26年4月 雇用人数1人（大垣特別支援学校卒業）

障がい者を雇用した理由は

法定雇用率を厳守し、企業としての社会的責任を果たすべく、障がい者雇用の幅を広げようとしたことがきっかけです。平成18年に初めて特別支援学校からの職場実習を受け入れ、翌年には当社で雇用実績のなかった知的障がい者の採用につなげることができました。現在、雇用している障がい者11名のうち4名が特別支援学校の卒業生です。

仕事内容、働きぶりは

坂さんには、検査済みのガラスびん製品を出荷用の段ボールケースに梱包し、パレットに積載する業務を担当してもらっています。単調な作業ですが、それゆえに集中力を要する仕事です。取扱製品は多岐にわたり、梱包や積載の仕方は製品によって異なりますが、分からないことは質問し、確認してから作業を行うことができるため、安心して任せることができます。正確な作業ができるだけでなく、特別支援学校在校生の実習受け入れに際しても、自分の経験を活かし、後輩たちに先輩として適切な指導をしてくれています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

特別支援学校で行われている企業内作業学習を毎年受け入れています。在学中に通勤や業務を体験できること、職場での人脈を作ることができるため、入社後、職場へのスムーズな定着に効果があると考えています。また、一緒に働く社員にとっても、実習を通じて実習生の個性を的確に把握できるため、仕事内容や指導方法のミスマッチを減らすことにもつながっています。

障がい者を雇用してよかったことは

特別支援学校の卒業生は、皆さん大変素直で、ひたむきに仕事に取り組んでくれています。こうした姿勢が健常者の社員にとっても、良い刺激になっています。また、在校生の職場見学も受け入れているため、先輩の働く姿が在校生の目標になり、後輩たちが当社で働きたいと考えてくれることにより、継続的な採用という好循環につながっています。

◎卒業生のコメント

【坂 祐太さん（大垣特別支援学校卒業）】

規格外を見て、早く正確にできるように頑張っています。製品を梱包した段ボールケースを正しい向きで、きれいにまっすぐ積み上げるように心がけています。いただいた給料を無駄遣いしないように気をつけながら、自分の好きな物を買えることがうれしいです。今は、給料をためて自動車の免許を取ることを目標にしています。



登録番号30号

医療法人香徳会 介護老人保健施設 太陽苑

施設長 齋藤 雅也
関市平成通2-6-18
平成26年4月 雇用人数1人（中濃特別支援学校卒業）

障がい者を雇用した理由は

以前より地域社会への貢献として障がい者雇用に取り組む中、特別支援学校の卒業生を雇用し、一生懸命、真面目に取り組む利用者様に対して思いやりの気持ちを持って接している姿を見てきました。

障がいのある方が、介護を通して人と接する楽しさや難しさを学び、介護の職場で本人のやりがいを見つけて取り組み、成長していけるように職場全体で支えることで、他の職員の成長にもつながっていきたく考えています。

仕事内容、働きぶりは

石垣さんには、介護業務一般補助（食事の準備・後片付け、シーツ交換、入浴介助等）を主に任せています。決められた業務を真面目に行い、多くの業務ができるように意欲を持って取り組んでいます。積極的に利用者様に話しかけることができ、誰からも親しまれています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

障がいのある方の能力に合わせた業務内容とタイムスケジュールを作成し、それに沿って仕事を進めてもらっています。一つの業務ができるようになったら、少しずつ新しい業務ができるように指導し、業務拡大をしています。障がいのある方が「やりがい」を感じられる業務内容を考慮するように努めています。

障がい者を雇用してよかったことは

障がいがあっても業務が一つずつ確実にできるようになったことが、石垣さんの「やりがい」につながっていると思います。職場実習に来た後輩たちが、楽しそうに働いている先輩の姿を見て入社したいと感じてくれることが、継続した障がい者雇用につながっています。

◎卒業生のコメント

【石垣 季奈さん（中濃特別支援学校卒業）】

最初は分からなかった仕事も、周りの職員の方が教えてくれたり、手伝ってくれたりなどフォローしていただきました。そのおかげで食事の準備や入浴介助の補助ができるようになりました。利用者様とコミュニケーションがたくさん取れ、毎日楽しく仕事をしています。今後はトイレ介助などの仕事も挑戦していきたいです。



登録番号63号

株式会社岐阜グランドホテル

代表取締役社長 大橋 和彦
岐阜市長良648
平成26年4月 雇用人数1人（岐阜特別支援学校卒業）

障がい者を雇用した理由は

当社経営の基本理念・行動指針の一つに「地域社会から愛され信頼されるホテルに…」と定められており、その一つの取組として障がい者雇用を進めています。

また、障がい者雇用を進めることにより、職場内に思いやりの心を深めることができ、その結果、明るく働きやすい職場づくりができて、お客様に喜びと感動を感じていただくと考えています。

仕事内容、働きぶりは

松井さんには、お客様のお皿等の洗浄、ナイフ・フォーク等の仕上げ磨きや仕分け等の仕事をしてもらっています。真面目に勤務し、すべての仕事を丁寧にやってくれています。同じ部署の従業員にも信頼され、様々な仕事を任されています。仕事の基本である挨拶がしっかりできて、他の部署の従業員とのコミュニケーションもしっかりとれています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

お皿やナイフ・フォークを利用するのはお客様であり、お客様が使う場面を想像して仕事をするように指導しています。そうすることにより、お皿のどこの部分をきれいに洗うとよいのか、スプーンやフォークは素手でどこの部分を触ってはいけないのか等、分かるようにしています。また、夜に仕事が多いホテル業務ですが、通勤がスムーズに行えるように勤務時間を配慮し、日中の勤務としています。

障がい者を雇用してよかったことは

松井さんと挨拶を交わすたびに、元気を分けてもらっています。なにより松井さんが社会人として元気に働いている姿を見るのが嬉しいと親心のような心境です。真面目に勤務する松井さんの姿を通して、全従業員の障がい者に対する理解が深まること、モチベーションが上がることを期待しています。

◎卒業生のコメント

【松井 康平さん（岐阜特別支援学校卒業）】

職場実習でホテルでの仕事を体験し、ホテルで働くことに憧れました。4月からホテルで働くことができ嬉しく思っています。今、頑張っていることは、ナイフやフォークを洗ったり磨いたりして、お客様に喜んでいただけるようにしています。これからは、家でも洗剤物ができるようにしたいと思っています。

